

地域学校
協働活動

休日OK ほかごOK 授業OK ちがくきょうどう通信

2023年
7月発行

令和5年度より、サッポロサタースクール事業は「地域学校協働活動推進事業」と名称を改め、地域と学校が連携・協働できる体制づくりを推進しています。これに伴い、これまで発行してきました「サタースクール通信」も「ちがくきょうどう通信」と名称を改め、皆さまに活動事例や、参考情報等をお伝えしていきたいと考えております。

それでは、今年度の第1号は「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動について」と題してお届けします。是非ご覧ください！！

早速ですが、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）はご存じですか？

コミュニティ・スクール（以下、CS）とは、保護者や地域住民等が一定の権限と責任をもって学校運営に参加し、目指す子ども像の共有や、目標の実現に向けて協働する仕組み「学校運営協議会」を設置した学校のことをいいます。また、法律で定められた事項として、校長の作成する学校運営の基本方針を承認することや、学校運営について教育委員会や校長に意見を述べること等ができます。

札幌市では、あり方検討委員会を設置するなどし、現在導入に向けた検討を進めているところです。



つまり、**コミュニティ・スクール**は、「地域と学校が目標や課題を共有し、目指す子ども像の実現に向け、必要な取組等を話し合う（熟議する）場」となります。



そして、**地域学校協働活動**はその話し合われた必要な取組等を実現する活動の実行役となります。

コミュニティ・スクールが導入された際は、**地域学校協働活動と一体的に取組むことが求められます**。下の図はその基本的な関係性を示したものです（文部科学省の示す内容をもとに作成）

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

コミュニティ・スクール

連携・協働して取組を実施

地域学校協働活動

学校のグランドデザイン（目指す子ども像）を踏まえ、目標やビジョンを共有し、必要な取組を話し合う（熟議する）場

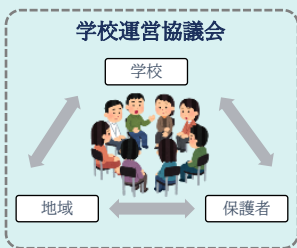


学校運営協議会で話し合われた必要な取組等を形にする活動の実施
※CS導入以前から取組んできた活動を継続的に実施することも可能
また、これまで実施してきた活動を学校運営協議会と共有することで、更なる活動の展開も見込める

地域学校協働活動推進員

（現行のコーディネーター等が担うことを想定）

地域と学校をつなぐ中核的な役割を担い、活動のコーディネートや、調整、情報共有等を担う



地域と学校をつなぐ総合的な調整役

学校運営協議会委員として学校運営へ参画する。地域の窓口として学校との活動の情報共有や、打合せの設定、連絡・調整、学校運営協議会開催の補助等を担う



活動のコーディネーター役

域内の地域学校協働活動の総合調整を担う。プログラムの企画・運営に伴う調整、講師、スタッフの確保、参加者の募集、学校との連絡調整、各種広報活動、活動報告等を担う

「緩やかなネットワーク」
を形成した任意性の高い協力関係



- 一般的な仕組み（他都市参考）
- ・1校15名程度
- ・委員構成は校長、地域住民、保護者、地域学校協働活動推進員（コーディネーター）等

- ・地域住民等による任意性の高い協力関係
- ・主な参加者の例：地域学校協働活動推進員（現コーディネーター）、教職員、PTA関係、町内会、子ども育成団体、企業、NPO、文化・スポーツ団体、児童会館、まちづくりセンター 等

小中一貫した教育のパートナー校単位で設置を想定

学校を取り巻く地域の特性等を踏まえ、各学校単位での活動を想定

コミュニティ・スクールの導入を見据え、地域学校協働活動をきっかけに、「地域と学校のつながりづくり」に取り組んでいる事例をご紹介します！！



Part 1 **手稲中央小☆こども未来応援団**



手稲中央小学校の活動はサタデースクールの時代から数えて今年で7年目を迎えました。活動のスローガンとして、「地域の輪をつなぎ、子どもたちの成長や学びを支える活動を続ける」ことを掲げています。

活動の企画、運営、会議の開催、地域間の調整等を統括的なコーディネーターが担い、プログラム毎に担当のコーディネーターを配置することで、専門分野における業務を分散し、多様な人材が参画できる工夫された組織体制となっています（下記図参照）。

上の写真は今年度の活動について、学校と地域の皆さんで話し合った様子です。それぞれのフィールドで活躍する地域の皆さんが、学校と目標を共有し、子どもたちのためにできることを話し合うその姿は、コミュニティ・スクールに通じる場所があります。このときの「熟議」で決定した「手稲中央小☆こども未来応援団」の団体名称は、子どもたちの未来のために、学校と地域が一体となって活動していくという思いが込められています。

コーディネーターが作成した各プログラムのチラシも非常に魅力的ですので、是非同校HPをご覧ください！

コラム

「手稲中央小☆こども未来応援団」

会長兼コーディネーター 駒ヶ嶺 智史さん

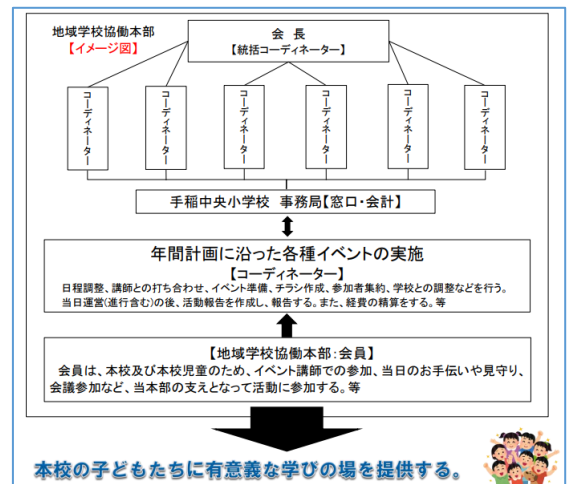
私たちは、学校とともに地域の皆で子どもたちの成長を支えられるよう、「手稲中央小☆こども未来応援団」が窓口となり、学校と地域のつながりを維持しながら、学校を中心に地域の輪を広げる活動をしています。

地域の皆さんも、忙しい方ばかりですが、地域学校協働活動のプログラムをPRすることで、興味をもってもらえることがあり、子どもたちや学校を助たいと協力いただける方が少しずつ増えています。

世の中的には地域と学校の関係性の希薄化が問題視されていますが、こうした活動をきっかけに、つながりの再構築を図ることができるかもしれません。

今年度は、今後の中学校区での活動も視野に入れ、学校とも相談した上で、隣の小学校区を含む青少年育成委員会や、まちづくりセンターにも協力を依頼しました。

コミュニティ・スクールが導入された際は、「手稲中央小☆こども未来応援団」に参画している皆さんや、この会議の経験を有効活用できると思います。



「手稲中央小☆こども未来応援団」資料抜粋



Part 2 **中央小学校地域運営協議会**

中央小学校は、これまでもサタデースクール等で地域との素晴らしい活動を展開してきましたが、コロナ禍の影響で、残念ながらその活動をストップせざるを得ませんでした。今回、地域学校協働活動をきっかけに、学校と地域のつながりを再構築しようと、新たに「中央小学校地域運営協議会」を設立し、活動の再スタートを切りました。

早速、地域の方を集めて会議を開催（左上写真）。サタデースクールにご尽力いただいた方たちをはじめ、地域で活躍するNPO法人等も新たに加わり、総勢11名もの地域の方に参画いただくこととなりました（主な構成：元おやじの会、元PTA、児童会館、保育園、NPO法人、まちづくりセンター、青少年育成委員会）。皆さん、活躍するフィールドは違えど、子どもたちを思う気持ちは一緒で、非常に頼もしく感じます。

同校は、コミュニティ・スクールの導入を見据え、先行して地域学校協働活動をスタートさせることで、活動の実施を通じ、学校と地域のつながりづくりを推進しています。

また、先に紹介した手稲中央小学校同様に、地域の輪を広げようと、おたよりを作成して活動の周知を図っています。活動にご協力いただける地域人材を募集していますので、興味のある方は是非、同校へご連絡ください！

地域学校協働活動だより 2023.5.17 №1
発行元 地域運営協議会

「地域学校協働活動」って？
初めて名称を聞く方も多くいらっしゃると思いますが、この活動の前身はコロナ以前に地域を中心に活動していたサタデースクール事業です。中央小学校区の子どものための様々な成長を支えるという目的や長年地域活動の中心として活動してきたこと、コロナによって休止してしまいましたが、今年度より再びNPO法人と連携して活動してまいります。また、今年度からは、「地域学校協働活動」と名称を変更して学校の教育活動にもこの活動を活用することができるようになりました。中央小学校の子どもたちもこの機会を捉えて活動を考えています。保護者の皆様にも活動をお知らせいたします。お問い合わせは下記のとおりです。

運営協議会の様子から
5月16日に地域運営協議会の第一回運営委員会を行い、「地域と学校の連携」について交流しました。今回は札幌市教育委員会の職員も参加し、札幌市が推進するコミュニティ・スクールやサタデースクールの活動の現状について話し合いました。また、地域運営協議会のメンバーに改めて活動のやりかたをお話ししたとき、お話しする委員の皆さんと交わりました。また、それぞれの地域で今年度予定している子どもたちのための活動を知ることができ、運営協議会としても取り組めることを考えるきっかけとすることができました。御参加いただきました学校評議員の皆様、委員会の皆様、ありがとうございました。

※私達も会議に参加し、CSや地学協働についての説明をさせていただきました。皆さんのところにもお伺いしますので、是非ご連絡ください。